

1. 内政

▼ティモシェンコ前首相等に関する動き

- ・22日、キエフ州控訴裁判所は、ルツェンコ元内相の逮捕拘束を指揮したグジミン次長検事等に対する刑事手続再開に関する同元内相による請求を棄却。
- ・22日、ティモシェンコ前首相のヴラセンコ弁護人は、同前首相の手術に関する問題が解決していないとして近日中に欧州人権裁判所に提訴する意向である旨発言。
- ・25日、コジャーラ外相は、ティモシェンコ前首相は裁判に非協力的であり、現時点で同前首相の国外治療は不可能である旨、また、右問題は内政問題であるとして、国際社会の圧力により解決されることはない旨発言。
- ・26日、ルトコフスカ最高会議人権担当全権代表(オンブズパーソン)は、ティモシェンコ前首相の国外治療の問題に関しては法的根拠が見当たらないとし現時点で関与する意向はない旨発言。

▼その他

- ・22日、コロレフスカ社会政策相(「ウクライナー前進」党党首)は、同党が他党と合併する可能性はない旨発言。
- ・25日、ヤヌコーヴィチ大統領は、連合協定署名の条件に含まれているマスメディアの所有関係の透明性の確保に関する法律に署名。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・22日、世界鉄鋼協会は、2013年6月期のウクライナの粗鋼生産高が対前年同月比で7.8%増加するとともに、粗鋼生産高が64ヶ国中10位から8位に上昇した旨報告。

▼国家予算

- ・24日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国家財政赤字の改善を目的とした、付加価値税還付を5年満期(年率5%)の国債

で支払うことを定めた法案に署名。

- ・24日、アルブーゾフ第一副首相は、近い将来、追加歳入のため大きな経済成長が期待でき、我々の自信が国際市場での状況の改善につながるであろう旨発言。

▼その他

- ・23日、閣僚会議は、ミコライフの南部の全長13キロの橋の建設のためのフィージビリティ・スタディを承認。

3. 外交

▼コジャーラ外相の東方パートナーシップ外相会合出席

- ・22日、コジャーラ外相は、ブリュッセルで開催された東方パートナーシップ外相会合に出席。参加者は、11月のビリニュスでの首脳会合の準備状況及び同会合で採択が予定されている共同宣言の内容等に関し協議。議長を務めたEUのアシントン上級代表は、首脳会合の成功はパートナー国次第であり、今後数週間に残された課題が履行されることを期待する旨の声明を發出。

- ・コジャーラ外相は、訪問先のブリュッセルにおいて22日にメディヤロフ・アゼルバイジャン外相及びコホウト・チェコ外相と、23日にヴィゲニン・ブルガリア外相と会談し、それぞれの二国間関係等に関し協議。

▼その他

- ・22日、ペレビーニス外務省情報政策局長は、17日のロシア国境警備艇との衝突事故で行方不明になっていた小型漁船のウクライナ人乗組員2名の遺体が収容された旨発表。

4. 防衛

- ・24日、バドラック軍備・軍縮研究所長は、ウクライナの軍用装備及び武器輸出の新しい市場としてラテンアメリカを挙げ、南東アジア、中東、中央アフリカ及びCIS諸国はウクライナの防衛活動を熟知しており、それらの発展のために協議することは意義がある旨発言。

(了)